



造影CT検査説明書および同意書

【検査目的と方法】

今回の検査はヨード造影剤を静脈注射しながら行います。造影剤は病気の有無や性質・範囲をより正確に評価するために用いられる大変有効な薬剤です。

【起こりうる副作用】

ヨード造影剤は広く一般的に使われ、基本的には安全な診断薬とされていますが、一定の頻度で下記のような副作用が生じることがあります。

- ◇ **軽い副作用**：吐き気、動悸、かゆみ、発疹、熱感、注射部位の痛み等。ほとんどの場合、軽度で一過性の症状です。（100人～200人に1人程度の割合）
- ◇ **重大な副作用**：非常にまれですが血圧低下や呼吸困難、意識消失、腎不全などを起こすことがあります。（2000人～3000人に1人の割合）また、極めてまれですが死亡例もあります。（10万人～40万人に1人の割合）
- ◇ **遅発性副作用**：検査後数時間から数日後にかけて、発疹、かゆみ、吐き気、むくみ、めまい、頭痛などの症状が発生する場合があります。

【副作用が起きた際の対応】

万一重大な副作用が発生した場合は迅速な処置を行える体制を整えております。また、遅発性副作用や何らかの異常が現れた場合には当院までご連絡ください。

【造影剤の使用に際し注意が必要な方】

- ◇ ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往のある方は、原則造影CT検査は行えません。
- ◇ 重篤な甲状腺疾患のある方は、原則造影CT検査は行えません。
- ◇ 気管支喘息や重篤な心障害、肝障害、腎障害等をお持ちの方は副作用の発生頻度の上昇や症状の悪化のおそれがあります。原則造影CT検査は行えません。
- ◇ 糖尿病の薬（メルビソ・メグルロ・グリロラン・ネビス・ジベトン・ジベトス・メット・メホルシ・トリホなど）を飲まれている方は、原則造影CT検査は行えません。ただし、服薬を検査前後2日間（検査当日を含めた5日間）中止できる場合を除く。
- ◇ 妊産婦、授乳婦、妊娠している可能性のある方、小児などへの造影剤投与は、診断上の有用性が危険を上回ると判断される場合のみ行います。

※造影剤の使用を承諾された場合でも、検査前に造影剤に関する承諾をいつでも撤回することができます。ご不明な点や造影CT検査を受けたくない場合は遠慮なくお申し出ください。

NHO まつもと医療センター 病院長殿

上記内容を充分理解し納得した上で、今回の造影CT検査を受けることに同意します。

記入日：平成 年 月 日

患者様または代理人(続柄：) 御署名(同意)